

(令和2年10月26日)

< ワンポイントレッスン (実践) >
(21年3月期中間決算)

(21/3期「売上」の回復度に注目)

新型コロナの感染拡大はなかなか収束しませんが、ウィズコロナへの対応やGOTOキャンペーンなど、経済活動が回復に向かっているのは確かです。この先の企業業績はどう変わるのか気になる処。ちなみに先週の業績修正をJ-GXの「適時開示」でみると売上高、営業利益、経常利益の予想をすべて減額修正したのは4社、同様に増額修正したのは19社。これは、全市場・全決算期を対象にしたものですが、良い傾向となっています。

ちなみに、現在の状況。中間決算発表を控えた3月期決算会社を対象に東証第一部市場上場銘柄を対象に今21/3期の売上高、経常利益について会社側から公表されている予想を単純に集計すると、▼9.8%減収、▼29.5%の経常減益の予想となります。

上場会社全体の経常利益の動向が気になりますが、今期は新型コロナの影響・異常事態からの回復度に注目なので、まず売上高。まだ、PERで測れるマーケットではなさそうです。集計できた1019社のうち減収を予想しているのは733社。増収は286社。中型株・大型株に絞れば、▼20%以上減収になると予想しているのは22社。▼10%以上減収と予想しているのは100社。中間決算の発表を終えて下表がどう変わるか。トレースしておきたいところです。

21/3期の予想売上高

(単位：億円、%、社)

	売上高		21/3期予想		21/3期予想会社数	
	20/3期実績	21/3期予想	減収幅	減収率	増収予想	減収予想
小型株	922,746	852,719	70,027	7.6	227	519
中型株	1,692,819	1,538,082	154,737	-9.1	53	168
大型株	2,144,462	1,902,223	242,239	-11.3	6	46
合計	4,760,027	4,293,024	467,003	-9.8	286	733

GC Hello Trend Master の銘柄検索ツールを使って作成

注・対象は、東証第一部市場上場3月期決算の中で、21/3期の売上高の予想を発表している1019社。データは、10月23日現在。